

2016J2

■順位表■第2節

勝点、得失点差、得点、失点、
岐阜戦の戦績（岐阜から見て）

1	群馬	6p	+5	6	1	A●
2	讃岐	6p	+2	3	1	
3	C大阪	6p	+2	2	0	
	熊本	6p	+2	2	0	
5	清水	4p	+3	3	0	
6	岡山	4p	+1	3	2	
7	山口	4p	+1	2	1	
8	札幌	3p	+3	4	1	H●
9	松本	3p	+1	2	1	
10	千葉	3p	0	3	3	
11	東京V	3p	0	2	2	
12	北九州	3p	0	1	1	
13	長崎	3p	-2	2	4	
14	京都	2p	0	2	2	
15	愛媛	2p	0	1	1	
16	山形	1p	-1	1	2	
	水戸	1p	-1	1	2	
	町田	1p	-1	1	2	
19	金沢	0p	-2	2	4	
20	徳島	0p	-2	1	3	
21	横浜FC	0p	-3	0	3	
22	岐阜	0p	-8	0	8	----

次回HomeGame

第5節 vs.水戸ホーリーホック
3/26(土) 14:00
@岐阜メモリアルセンター
長良川競技場


本庄工業株式会社
<http://www.honjo-woodream.com/>

岡田歯科医院
岐阜市加納新本町1-23
tel:058-273-8998

ALADDIN
何も無い店だけど..
心の花が咲く..
何も無い店だけど..
心癒される..
忘れかけていた喫茶店がある
岐阜市昭和町3丁目(木ノ本公園東)

today's guest : **ギラヴァンツ北九州**

2015 J2 18勝5分19敗 勝ち点59:第7位

直近の対決と結果	ここ3試合の公式戦の結果	
2015/9/13 J2-31節@長良川	FC岐阜	ギラヴァンツ北九州
岐阜 1-0 北九州 レオミネイロ scored.	2016/03/06 J2-02節@長良川 岐阜 0-4 札幌	2016/03/06 J2-02節@本城 北九州 0-1 山口
	2016/02/28 J2-01節@正田スタ 群馬 4-0 岐阜	2016/02/28 J2-01節@本城 北九州 1-0 山形
	2015/11/23 J2-42節@長良川 岐阜 1-4 福岡	2015/11/23 J2-42節@本城 北九州 2-1 長崎

●ホーム・長良川でのJ2開幕戦となった3/6(日)の札幌戦。2/28(日)に群馬に0-4で惨敗した反省を糧にして、1週間での立て直しを誓ったFC岐阜。しかし、その誓いも虚しく再び0-4での敗戦。選手は入れ替えたものの守備・攻撃とも改善点は見られず、チームとしての連動・連携も欠いて前半で4失点、しかも撃ったシュートはゼロ。後半は(札幌が力を緩めたのか)無失点・シュート7本を撃って終えたが、2試合連続での大量失点・無得点の不甲斐ない試合に、試合終了後には岐阜サポーターから大きなブーイングが沸き上がった。チーム・クラブには、この反応を真摯に受け止めて欲しいと思う。幸か不幸か、また次の試合(今節)もホーム戦だ。ここで挽回しておかなくては、今シーズンの行方にも暗雲が立ちこめてくる。選手たちは苦しいだろうが、屈辱的な連敗のショックを切り替え、しっかりと1週間で修正・準備をして試合に臨んで欲しい。

さて、ホーム連戦となる本日の対戦相手は、昨シーズン7位(現在は12位)のギラヴァンツ北九州。柱谷幸一監督4年目となる今季は、主力選手がほぼ残留する中で補強もすすめ、来シーズン(2017年)のJ1ライセンス獲得を視野に入れてチームの積み上げを図り、今季のプレーオフ出場を狙うチームだ。今季の北九州は、前節はJ2初参入の山口に敗れたものの、開幕戦ではJ1降格組の山形に勝っており、昨年同様に実力あるチームと見て良いだろう。岐阜との通算対戦成績は5勝1分6敗、13得点16失点。ホーム戦では4勝1分1敗8得点5失点で、昨季も9/13(日)に1-0で勝利している。相性が良い相手ではあるが、北九州は連敗を防ごうと厳しい決意で長良川に乗り込んでくるだろう。無論、僕らだって開幕3連敗なんかしたくない。意地と意地のぶつかる激しい試合になるだろう。

その北九州で最も警戒すべき選手は、やはり昨シーズン18得点でJ2得点ランキング3位(日本人トップ)の#25小松壘だろう。今季も開幕戦で早速ゴールを挙げている。前節は体調不良で欠場したが、裏を返せば「小松がいないから負けた」ともいえる北九州のキーマンだ。また、今季北九州に戻ってきた(そして2006年に岐阜にレンタル移籍していた)#14池元友樹も要注意選手だ。他にも、鹿島を支えてきた大ベテランの#43本山雅志など、有力選手が揃っている北九州。守備に大きな不安要素を抱える岐阜だが、この北九州の攻撃陣を抑えきれなければ勝利は見えてこない。(2014年まで7年間北九州に在籍していた)#18富士祐樹など、守備陣には奮起をぜひとも期待したい。また、前回の対戦で決勝ゴールを挙げた#33レオミネイロには、今回も勝利のゴールを決める姿を見せて欲しい。そして、岐阜の#14風間宏矢と北九州の#7風間宏希の兄弟対決にも注目したい。2人は言わずと知れた風間八宏(川崎監督)の息子たち。今回も弟・宏矢の活躍に軍配が上がってほしいものだ。

今シーズンを「まだ2試合」と考えるか「もう2試合」と捉えるかは、人によって違うだろう。しかし、「三度目の正直」、今節こそはと勝利を願う、その思いを声や拍手に乗せて、しっかりと選手たちに届けよう。きっと選手たちは、僕らの気持ちに結果で応えてくれるはずだ。(ささたく)

「いらっやいませ」より「おかえりなさい」が似合うアットホームな韓国料理店。
『チヂミ屋』はJR岐阜・名鉄岐阜駅から徒歩3分。
休:月曜日

投稿募集!!
アドレスが変わりました
gidaidohri@gmail.com

【第2節】岐阜 0-4 札幌

●スタメン発表を知ったとき、僕は「ああ、今日は守備的に3バック(3-5-2)でいくんだな」と何の疑いもなく思った。「#19 益山はSBじゃなくて右WBで、左WBに#28 水野か#6 高地かな…」ってな感じで、勝手に選手の配置をイメージしてました。ところが、だ。選手の円陣が解けてみると「あれれ？3バックの真ん中に#30 田代がいるぞ？おいおい、そんな布陣で#22 GK ポープとの連携は大丈夫なのか…いや待てよ…まさか、これって4バック！？ええっ、なんで#4 岡根が左SBなの！？」って、キックオフ前から僕の頭の中は大混乱だったことを告白します(溜息)。

前節の群馬戦で0-4と大敗したから、選手の入替え、特に守備のテコ入れをしたいって姿勢は十分に判る(というか、テコ入れして貰わないと困る)。なのに、どうしてこの布陣なんだろう？J3 試合目の若きGK、初組み合わせのCBコンビ(しかも1人は本職ボランチ、1人はJ初出場だ)、慣れない左SB(せめて#4 岡根と#30 田代を入れ替えた方が良かったんじゃないか?)、これで守備が安定するとは(少なくとも僕には)到底思えなかった。案の定、キックオフから僅か15秒で札幌にファーストシュートを(しかも枠内に)許してしまう。その後も札幌に攻められたい放題。群馬戦の反省はどこへやら、サイドを突破され、連携を崩され、守備ブロックを破られ、あれよあれよと失点を重ねる岐阜。

まあ2点目のPK献上はアンラッキーと言えるかもしれないけど、あの位置でフリーにシュートを撃たせてるのが大きな問題だよね…(溜息)。#30 田代には、ほろ苦いJデビュー戦になってしまったけれど、くじけずに頑張っただけ。一応、選手は入れ替えてみたものの、群馬戦と何ら変わらない光景…いや、前半で4失点しかも#9 都倉賢に初のハットトリックを献上してるんだから、さらに酷い光景と言えるかも。これは練習試合なのか？僕らは札幌の攻撃練習に付き合ってるのか？そんな錯覚まで起こしそうになる前半。そしてシュート数がゼロって…ここは僕らのホームスタジアム・ホーム開幕戦じゃないのか？

後半は札幌が“流して”きたのかしら、失点シーンは見なくて済んだけれど、「まず1点を」と望んだ得点シーンも残念ながら見られない。後半早々の#33 レオのヘッド、あれは惜しかった…！あれが入ってれば勢いが出たかもしれないけれど、その後は札幌にすぐ対応されてしまった。そりゃ、(たぶん攻撃の決まり事がほとんどないから)味方がボールを持ってても他の選手が連動して動き出さないんだもん。個の能力・センスに頼る単発的な攻撃じゃあね…(溜息)。そして3枚目の選手交代を残したままで、淡々と試合終了。

僕は最後まで声を出して応援してたけれど、途中で次々と(早い人はハーフタイム中に)席を立つ人たちが散見された。群馬戦のPVでも、同様に席を立った人たちがいたとか。その人達を責めるつもりにはなれない(というか、痛いほど判る)、そんな試合内容だった。そして、この試合の観客数は(なんと)4,898人。なんだかスタジアムが埋まっていないなーとは感じていたけど、この数字の発表で驚いたのは僕だけだったんだろうか。小雨が降る予報だった(そうそう、試合終了後まで雨が降らなかったのは、この試合でよかったことの一つだ(苦笑))ことや、他のイベントと同時開催だったことも原因だろうけれど、この人数はホーム開幕戦としては過去3番目に少ない人数のハズだ。ちなみに今節より少ないのは2010年&2012年、いずれも雨の試合だった。つまり2008年&2009年のホーム開幕戦よりも観客がいなかったという事実。この数字に、チームもフロントも危機感を持って、真剣に対応して欲しいと思う。(ささたく)

●今季最初の岐大通に「PSMは2試合あった。今季のリーグ戦は41試合で結果を出すんだ。」というようなことを書いた。そしたら、群馬戦では2失点だった前半にその倍の4点取られてしまった。開幕戦をないがしろにした自分の不明のせいだと恥じ入る次第です。深くお詫びします。

札幌戦でよかったことといえば、雨が降らなかったこと。こ

んな試合を終了まで見たうえにズブヌレになったら泣くに泣けなかったハズ。ましてや、開幕戦も現地で見ている方には掛ける言葉も見当たらない。一身上の都合でスカパー！観戦していた自分が言えた義理ではないが、それでも勝利を信じて長良川に駆け付けたサポーターに敬意を表します。

しかし、何をどうしたらこうなるんだ？ようやく、守備の要として秋葉を使ったと思ったら左SBに岡根。見た時は変則4バックで要は3バックなのか？と思ったんだけど、サブにも入ってないから、俊はケガが体調不良なんだろう、と。ルーキーよりは、という選択肢での岡根なんだろう。そう思っただけはみたものの、やはり現実には甘くない。それでも、シュートがゼロだったとはいえ、前半もそれなりに攻めることができたのかな。単発だけ。その分？守備がからつきであんなふうになってしまいました。3点目なんか、クロスを受けるハズの札幌の選手が転んだ時点で「ラッキー！」と思っただけなのに、足の裏でアシストされるなんて。しかも、パスのスピードもそんなにあったようには思えないんですがね。いろんなモノを見失ってたんでしょね、2点失った時点で、すでにそれはそれとして、高地のケガ、もしくはコンディションが心配です。プレースキックが全然飛んでかない。どう考えたって普通じゃないです。休ませるべきじゃないでしょうか？

いや、もう、書いてる自分が支離滅裂で、理路整然となつてませんね。2試合終えただけの時点で、すでに超危機的なこの状況。オウン・ゴールで勝ち点を9も得て、さらにライバルが自らつまづいてくれたおかげで降格を奇跡的に免れた昨季の失点数を大幅に塗り替える勢いのこの2試合。どう考えても尋常じゃありません。申し訳ないけど、群馬も札幌も特別すごかったワケじゃないんです。早急に何とかしなけりゃならない。ただ、そうは言っても、ボクがピッチで結果を出すことは不可能です。それは、選手じゃないとできないことです。普段の自分の仕事ぶりは思いっきり高く棚上げて、選手の皆さんにお願いします。みなさんは選ばれた人たちです。だから、プロとしてここにいるんだと思います。いろいろ難しいこともあると思いますが、こういう時こそ今まで培ってきたモノを、教わってきた基本を思い出し、ソコに立ち返ってください。同じピッチに立つ仲間を信じてください。仲間のために動いてください。パスを出したら走りましょう。パスコースを作りましょう。フォローしましょう。仲間の得意なスタイルを思い描き、有効に活かすための手段を考えましょう。自分の得意な形に持ち込むためにはどうするかを考え、仲間に伝えていきましょう。できるハズです。やれるハズです。信じています。

クラブ・スタッフの方々にお願いします。選手の不安を取り除いてあげてください。一刻も早く取り除いてあげてください。今季の選手はFC岐阜の歴史の中で一番のメンバーが揃ったと思っています。その選手達が本来の実力を発揮できない事態になるのはゆゆしきことです。もったいないです。繰り返しますが、今季の布陣はJ2を戦い抜くのに足るメンバーだと思っています。どうか、今以上に選手の力が発揮できる状況を作ってあげてください。

監督にも一言申し上げます。しかし、お願いすることは何もありません。我が国のサッカー史におけるレジェンドに、しかも自分より目上の方にそんなことは恐れ多いです。おこがましいです。ただ、一言申し上げることをご容赦ください。監督とは孤高の存在だと思っています。孤独な稼業だと思えます。信じられるのは己のみ。結果が出なければ自ら責任を負う。だからこそ、己の信念に殉ずるのはあたりまえのことでしょう。どうか、これからもそれを貫いていただきたい。周囲に迎合するカリオカなぞ見たくありません。ただ、自分もサポの端くれとして思うことがあります。それはクラブに対する気持ち。このクラブに対する思い入れは、監督のそれに引けを取らないと自負しています。もし、このクラブが危機的状況に陥った時は何らかの行動を起こす所存です。そういう気持ちは常にあります。

それでも、まずは今日の試合。北九州に全力でぶつかりましょう！今日は、自分も長良川に赴きます。共に戦いましょう！その時が来るまで、共に戦いましょう！(ぐん)